

木材ジャーナル名古屋・せぶ

平成27年12月号 No.103

名古屋木材組合
名古屋港木材産業協同組合

第50回全国木材産業振興大会・三重大会開催

新たな木材利用への挑戦で木材産業の創造的再興

～木材利用で街に第三の森林を～

平成27年10月29日(木)(一社)全国木材組合連合会、全国木材協同組合連合会の主催により、(一社)全国木材組合連合会東海支部が大会担当として、三重県津市 三重県総合文化センターで来賓、会員等約920余名の出席を得て開催された。

大会第1部大会議事は国家斉唱のあと、後藤岐阜県木連会長の会開の言葉があり、この一年間の物故者に対する黙とうに続いて鈴木全木連東海支部長並びに黄瀬三重県木連会長の歓迎の挨拶があった。

次に吉条全木連会長の挨拶の後、来賓の祝辞があり、大会宣言決議(下記)が発表され、満場一致で決議された。

引き続き第2部では記念講演として、三重県総合医療センター理事長 内田淳正氏による「みんなで成熟した社会を作ろう」の演題で講演会が行われた。

その後第3部では、表彰式が行われ、本県からは林野庁長官賞に大平剛士名古屋木材組合理事を始め、7名が受賞された。(下記受賞者名簿のとおり)その後三重県 鈴木知事も参加され、多数のご来賓のご出席の下、懇親会が盛況に開催された。



記

1. 大会受賞者(本県分)

林野庁長官賞	大平剛士	名古屋木材組合理事
全木連会長賞	加藤彰人	豊川木材組合副組合長
	榊原賢治	知多木材組合副組合長
	鈴木則幸	岡崎木材組合副組合長
	阪口俊	設楽木材組合副組合長
全木協連会長賞	服部賀充	鳳来製材協同組合理事
	上地浩之	名古屋港木材産業協同組合理事

2. 大会宣言

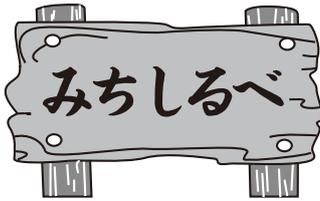
1. 木材利用の大幅な拡大を実現するため、森林・林業・木材産業関係者が一体となった木材利用拡大運動を進めよう
 1. 新たな木材需要拡大への支援対策・予算の実現と拡充に取り組もう
 1. 高層建築物、商工業施設をはじめ暮らしにかかわるあらゆる分野に木材利用を創出するため、CLTなどの新しい技術の開発・活用等の取り組みを進めよう
 1. 東京オリンピック・パラリンピック関連施設への木材利用を実現しよう
 1. 木材産業の成長産業化を目指して、効率的な生産・加工・流通体制の構築、税制度の確立、木材貿易の適正推進、間伐材・未利用材の木質バイオマス発電利用、新規分野の開拓促進に取り組もう
 1. J A S製品、合法木材・木製品、乾燥材など、安全安心で品質・性能の確かな木材の供給や担い手の育成確保に取り組もう

3. 共同行動宣言

- 森林・山村再生に向けた抜本対策実現への挑戦 —
1. 森林及び山村再生のための抜本的対策の実現をめざした運動展開へ向けて、広く森林・林業・木材産業関係者への参加の働きかけを行う
 1. 森林及び山村の再生へ向け行政・産業界・林業科医の力を合わせた全国・地方レベルでの取組みの店かいに努める
 1. 経済界をはじめ国民各層との連携を図りつつ、法改正を含めた制度改正を視野に置いた対策をはじめ木材需要の拡大とそれを支える国産材の安定供給体制を確立するための取り組みを推進する
 1. 地域おこしグループ、NPOなど各層における国民運動の担い手との結びつきを深め、木材利用、森林・山村再生への国民理解の一層の醸成に取り組む

平成27年10月29日
第50回全国木材産業振興大会

“いま、木に本気” 暮らしに活かそう木の良さを



長崎造船所

名古屋港木材産業協同組合
理事長 嶺 木 昌 行

去る10月の9日・10日、名古屋港西部臨海地帯企業連絡協議会の方たちと、長崎の港湾見学に行ってきた。長崎は私にとって、2000年に被爆者谷口稜嘩さんと対談して以来大変に興味深い土地で、今回は直接的には原爆と関係なく、産業遺産としての長崎造船所・軍艦島・グラバー邸見学が主な目的であった。

今回は協議会メンバーの中部電力さんのお骨折りもあって、普通では見られない長崎造船所の第3ドックや工場敷地内も見学させていただいた。

長崎造船所と言えば三菱の所有で、太平洋戦争時には呉(広島)で戦艦大和が、長崎で戦艦武蔵が建造され、二隻とも世界史に残る名艦としてその悲劇が今日まで言い伝えられている。また、その造船能力が逆効果を生み、広島原爆・長崎原爆の直接要因として加害者意識をも生じさせる結果となっている。

長崎造船所の生い立ちは、江戸末期、安政4年(1857)にまで遡る。安政4年に徳川幕府の命により長崎鋳鉄所(製鉄所)建設が着手され、4年後の文久元年(1861)、長崎製鉄所が現在地に竣工する。明治に入ると、船渠(ドック)着工し、明治10年(1877)、当時東洋最大と言われた立神第1ドックを完成させている。

長崎港は港湾が入り組んでいて波も緩やかであり、大型船が停泊しやすく、かつ江戸時代から貿易港としての出島を擁し、外国人、外国文化にもなじんでおり、更には軍艦島をはじめとする高島炭坑地区では安価で良質な石炭がふんだんに手に入り、外国船が寄港したり、修繕に立ち寄る最も適した地域であったことが、その後の長崎の発展とそれ以上の悲劇をもたらしたことになる。

明治20年(1887)、それまで官営工場であったものが、三菱の創始者岩崎彌太郎・彌之助兄弟により払下げを受け、三菱造船所となった。岩崎は同時に、軍艦島を含む高島炭坑群もグラバー商会から買い取り、造船と石炭の二大セットで三菱合資会社を発展させていく。

富国強兵、殖産興業を産業面で支えた三菱造船所は、その後の日本の軍事化に伴い、貨客船のみならず、戦艦・巡洋艦・空母等の生産基地として日本海軍の要所を占めるようになる。そして昭和20年の8月9日(長崎原爆の日)を迎えることになるわけである。

太平洋戦争後この70年間、長崎造船所はタンカーや大型コンテナ船、大型客船といった平和産業に徹してきた。しかし先日、財界の雄・経団連が、軍需産業を今後の日本の産業の重要な範疇とするといった決議がなされた。日米開戦の昭和16年は明治から数えると73年目である。今は太平洋戦争後既に70年経ってしまっている。「喉元過ぎれば熱さを忘れる」のか、日本経済の行き詰まりなのか、経団連のエリート諸兄が人を殺して金儲けをしたがっていると思えて仕方ない。

長崎造船所はどうするのだろうか。

◆ 自遊ご異見番 ◆

「悩ましい坪という単位」

とかく住宅業界では“坪”という単位が使われる。畳二枚分（中京間基準）、六尺四方と言ったほうが分かり易いか？この単位が実に悩ましい。避けて通れないから仕方ないが。私はツーバイフォー構造を扱う部署にいる。もう12年が経った。この部署に配属になったとき、耳に入る坪という単位が理解できなかった。「何これ？適当に丸め込まれたような単位は。一つとして同じ住宅はないのに坪単価がしょって、いったいどういうこと？形も間取りも違えば使う材料の量も内容も変わるでしょ。」分からないわけではないがなんか変だよな、そう感じた。顧客からは平然と「これいくらかかるかな？」手元には平面、立面、矩計図（あれば上等）しかない。これだけでどうやって金額をはじくの？さっぱり方法が分からない。それから三ヶ月近く、この答えを

出すために過去の資料と構造図面、木拾表などを何十棟と引っ張り出して謎解きが始まった。建物の面積、いわゆる坪という単位と構造の量（木材や合板、集成材など）との関係が何となくわかってきたとき、はじめてパッと眼前が開けた感じがした。

一般的な住宅の延床面積と木材（構造）の関係には傾向がある。間取りや屋根形状、面積外のバルコニーや吹き抜け、ロフト、小屋裏など、その建物の性格にもよるが、およそ面積比の材料割合は似ている。こうして紆余曲折を経ながら一つの計算式を作った。ただし、木拾いした分けではないから明確な根拠には乏しい。しかし受注できるか分からない物件にいちいち構造図面を作って木拾いなどしては費用も時間もかかりすぎるから現実的ではない。ツーバイフォーはこの面でのソフト開発が遅れているから、少々強引でも自前の根拠で頭をひねるしかない。今もこの方法を基本にグレードアップしながら、悩ましい坪という単位と付き合っている。

名産 広報委員：木股真佐志（大日本木材防腐株）

無災害 みんなで迎える 明るい新年

～平成27年度年末安全衛生推進運動～

愛知県内における労働災害の死亡者数は平成24年に初めて50人を下回る49人となったものの、平成25年以降は再び50人を上回ることであり、本年度も現時点で昨年とほぼ同じ被災者を数えています。また、休業4日以上の死傷災害についても、ここ数年6,500人前後の被災者数で増減を繰り返し、減少が滞っている状況にあります。

このような中、年の瀬を迎える慌ただしさの中で、不幸な労働災害により、働く仲間の誰一人としてケガすることなく、明るく新たな年を迎えられる職場を作ることを目指して、危険源の性質に着眼したリスクアセスメントの手法を用い、論理的な安全衛生管理の推進と定着のため「平成27年度 職場の年末安全衛生推進運動」を展開します。

1 推進スローガン

「無災害 みんなで迎える 明るい新年」

2 職場の年末安全衛生推進運動目標

論理的な安全衛生管理の推進・定着による労働災害発生防止

3 実施期間

平成27年12月1日（火）から平成27年12月31日（木）まで

4 事業者の実施事項

- (1) 経営トップによる安全衛生への所信表明と職場巡視
- (2) 危険源の性質に着眼したリスクアセスメントの手法による対策検討
 - ア) 「危険性又は有害性等の調査等に関する指針」による対策検討
 - イ) 職場内で使用される化学物質の安全データシート(SDS)情報に基づく管理
 - ウ) 応急対策のまま、リスク対応が先送りされている箇所の恒久対策処置
- (3) 学生アルバイト等新規採用者への雇い入れ時安全衛生教育の確実な実施
- (4) 学生アルバイト始め未熟練労働者へのOJTによる安全作業方法の習熟訓練
- (5) 腰痛予防、薬傷防止等化学物質対策、過重労働防止・メンタルヘルス対策等の推進

お知らせ

☆☆☆ 臨海地帯の道路美化一斉清掃が行われました。 ☆☆☆

平成27年11月12日(木)には飛鳥地区、11月18日(水)には弥富地区において、道路美化一斉清掃が行われました。

飛鳥地区・・・可燃ゴミ1,430Kg、不燃ゴミ530Kg、プラスチックゴミ420Kg、計2,380Kg

弥富地区・・・可燃ゴミ1,140Kg、不燃ゴミ560Kg、計1,700Kgのゴミを回収しました。

また、側溝の土砂の清掃も行われました。ご協力ありがとうございました。

☆☆☆ 西部臨海安全ニュース ☆☆☆

マイナンバー制度を口実にした不審電話に注意!!

本年マイナンバー制度開始に伴い、同制度を口実にした

「あなたの借金情報をマイナンバーに登録する」

「登録されたくなければ、現金を振り込んでください」

等の不審電話が、全国的に多発しています。

このような電話は、マイナンバー制度を悪用した振り込み詐欺の一種であるため、もしこのような電話がかかってきた場合は、すぐに110番通報してください。

◆ 広告コーナー



FUJITRANS

総合物流企業
フジトランス コーポレーション

代表取締役社長 系井 辰夫
名古屋港区入船1-7-41 〒455-0032
TEL 052 - 653 - 3111
http://www.fujitrans.co.jp

HITACHI
Reliable solutions

ガード付き配管

林業パッケージ
ZAXIS 75US / ZAXIS 120
ZAXIS 135US

建屋メッシュカバー
(ハーベスタプロセッサバック/ グラッパバック)

キャブ前面ガード (ZAXIS 120はオプション)

多様化する林業のニーズに応じて、4つの「お得」をパッケージ!
①充実の標準装備品 ②メンテナンス性の向上 ③品質アップ ④充実したサービス

ハーベスタ・プロセッサバック

グラッパバック

スイングヤーダバック (フレード付き)

日立建機日本株式会社
岐阜支店 関営業所 〒501-3930 岐阜県関市倉知南1
TEL 0575-24-6230 FAX 0575-24-5011 http://www.hitachi-kenki.co.jp/

発行 名古屋木材組合
発行者 鈴木和雄
〒460-0017 名古屋市中区松原2-18-10
TEL <052> 331-9386
FAX <052> 322-3376
【編集】名古屋木材組合広報委員会

発行 名古屋港木材産業協同組合
発行者 嶺木昌行
〒490-1444 海部郡飛鳥村木場1-74
TEL <0567> 57-2017
FAX <0567> 57-2018
【編集】名古屋港木材産業協同組合広報委員会